

当会長職を拝命して以来、今更ながら大変恐縮ではございますが、コロナ禍の合間を縫つて近隣エリアの重伝建地区や、雰囲気の似た町並みにお邪魔し出来うる限り学びたいと努めています。

昨年の印象深いエリアは、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区、鳥取県の若桜町、同県米子市内の旧い町並みです。特に若桜町は、令和三年八月二日付の文部科学省告示第143号により、正式決定したばかりのほやほやの重伝建地区です。重伝建地区としての若桜地区の評価は以下の4点です。

①若桜鬼ヶ城の城下町を起源とし、旧若桜街道沿いの宿場としての機能と物資の集積地として栄えた商家町である。②明治十八年の大火後の復興計画に基づいて建てられた伝統的な町家や土蔵など、防火を考慮した町並みが残されている。③町内を流れる川が町並みとともに自然地形を生かした用水として生活と密着している。

皆様新年明けましておめでとうございます。当会長職を拝命して以来、今更ながら大変恐縮ではございますが、コロナ禍の合間を縫つて近隣エリアの重伝建地区や、雰囲気の似た町並みにお邪魔し出来うる限り学びたいと努めています。

白壁の町並みを守る会会長 木坂 泰之

御挨拶 初夢：想つて書いて叶えてみたい



第八十九号

柳井市白壁の町並みを
守る会
事務局（皿田治）
TEL 090-1012-4204

(4) 大火を経て復興した山陰地方山間部の商家町としての歴史的な風致をよく伝えている。3時間程度の滞在でしたので全てを見て回ることは出来ませんでしたが、駅舎と、柳井の白壁の町並みに反映できる事も見えます。次に列記することはあくまで私個人もとても雰囲気の良い町並みでした。わざわざ足を延ばした甲斐がありました。

このお正月休み中に訪問した萩市佐々並市伝統的建造物群保存地区は萩往還沿いの宿場町平成二三十年に国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定されていますので、こちらも比較的最近認定されたエリアとなります。

佐々並市は、萩市の南部を占める旧旭村の南縁に位置する農村集落で、かつての萩城下町と三田尻（防府市）を結ぶ萩往還の中間点に位置することから、参勤交替の際に藩主が休息する御茶屋を中心とした、宿駅機能を有する集落として栄えました。町並みから山の方を眺むと、木枯し紋次郎でも歩いていそうな大変趣のある風景が印象的です。

佐々並市の町並みは、江戸初期に農業を基盤としつつ、萩往還の整備に伴って宿駅機能を備えた町並みとして成立し、近年に至るまで町並みの地割に大きな変化はなく、かつこの町並みの特徴を示す建築物や工作物、環境物件が現在まで数多く残っています。

萩市に於いては、堀内地区・平安古地区（昭和五十一年選定）、浜崎（平成一三年選定）と合わせ、重伝建地区数が4地区もあり、ひとつ市町村に所在する数としては京都市とともに全国最多となっています。

①『観光協会は、白壁の町並み（中心部）に在った方が良いのでは：現在の町並み資料館の近くであっても、双方で補完し合いながら、そこに関わる人たちがより働きやすい環境を整え、且つ観光面でもプラスの二乗作用が働くのではないかと思います。

②『○○家の昔話看板』：佐々並市の町並みの軒先に掲げられているものです。一見何気ない建屋も、簡単でもその家の歴史が判るものです。観光で運ばれる方にも地元住民にも寄り添つた、時間も費用も掛からない取り組みと感じました。

③『コミュニティFMエリア87.1』：これは5年前位に、町並みの方と食事をした際に出た案件です。温めて具現化出来たら面白いなあと思っています。

④『弘前×柳井の新ねふた』：弘前との交流が始まつて3年目となります。そう遠くない時期に両地の交流のシンボルがカタチとなるのではと思います。⑤『令和の北前船プロジェクト』：実際に船を出すことは困難ですが、当会を販売元としてネット活用の特産品の共同開発の第一歩を進めることができます。

最後になりましたが、令和四年が、当会会員の皆様方にとりまして実りある一年となりますよう心より祈念申し上げます。

昨年の一月号でも書きましたが、コロナの状況が改善しましたら歴史や規模は違えども情報交換ができる交流体制が整えないと思っています。こうやって他地区を何か所か回っておりまますと、柳井の白壁の町並みに反映できる事も見えます。次に列記することはあくまで私個人の「初夢」ですのでご容赦を…。

恒例の年末夜回り開催

事務局長 皿田 治

これまで二十三回も続けて来た白壁の町の伝統行事。

十二月二十八日午後七時三〇分に本陣の皿田家に大人十一名、子供十二名、報道機関三名の計二十六名が集合した。

第一回目は平成十一年に始まりその時は二十八、二十九、三十日の三日間、午後九時、十時、十一時の各三回の夜回りであつたが平成二十四年には二日間に短縮され令和二年度から一日限りの実施となつたのである。

短縮されて来た主な原因是第一に参加者の高齢化、第二にお楽しみだつた地元消防団のイノシシのふるまい鍋の中止である。



自分ひとりではとても重いものを抱えられていたため荷物の移動に木阪会長、武居幹事にお手伝いいただき、また長い間使つていなかつた灯油ストーブが鋸びついて使えず焦つたが國森前事務局長より一台押借しなんとか急ごしらえの本陣が用意出来たのでした。



昨年に引き続き中学生のボランティアが七名の他、毎回参加のご近所の児童さんが加わり一気に若年化が進んだことは誠に喜ばしい限りであつた。

お酒の燭付け係として今年は留守番役に徹していたが本陣に約二十分の夜回りを終えて一行が帰つて來た。

「火の用心、マッチ一本火事のもとく、カツチカチ」「火の用心、寝たばこ用心、火事のもとく、カツチカチ」白壁通りを「EDの灯りがともつた金魚ちようちんを手に持つた子供たちの声が響いて行く。なぜか男子生徒より女子生徒たちの方が断然声がでかいので思わず笑つてしまつた。

白壁の町の未来

桑原 真

私の所属する柳井広域仏教会では、師走

の十二月三日金曜日に恒例の歳末助け合いの募金活動として、托鉢を行いました。

どこも人通りが少なく、柳井の将来に大きな不安を覚えざるを得ませんでした。十年後の柳井はどうなつてているのかとても不安になりました。

では、どうすればいいのか、私なりに考
えて見ました。私見ですが以下列挙してみ
ました。

一、「白壁の町づくりビジョン」の策定を

まず、関係者が集まり、「白壁の町づくりビジョン」なるものを策定することが必要不可欠ではないでしょうか。

できれば、市民の意見を中心とした民間
主導で策定する方がよいように思います。
理想の案を中心に実現不可能かなと思わ

れることも取り入れていくビジョンがいい
と思います。理想にできるだけ近づくよう
みんなの力を結集し、努力していくような
ビジョンが必要ではないでしょうか。

二、市民参画の町づくりを

金魚提灯祭りが成功しているのは、ある程度市民参画ができているからだと思いま
す。白壁通りも市民参画が必要です。「白壁
を守る会」をさらに拡大し、柳井市民の宝
としてみんなで守り発展させる会が必要だ
と思います。

三、交流人口を増やす

人口は減るけど、観光客や仕事、遊びに
来る人を増やす。そのことで活性化します。
柳井の観光の中心はやはり白壁通りです。
その活性化が鍵を握ります。四季ごとの
イベントを行うのもいいと思います。花香
遊などはとてもいい行事だと思います。マ
ルシェなどを行うのも手です。

また、金魚提灯はメジャーとなり、全国
にその愛らしい姿が知られつつあります。

四、みんなでいい町に

人口減少の中、大切なことは今いる住民
が幸せであることです。この町は住みよい
いい町だと思えるよう活動することです。
いい町になればおのずと人が集まつてき
ます。今住んでいる人たちがごちゃまぜに
なり、助け合い支え合い、協力し合う町にす
ることです。

十年後、二十年後、柳井の町が愛や笑いのあ
ふれる楽しい町であつて欲しいものです。そ
ためには今すぐにでも市民のエネルギーを結
集し、行動する必要があるのでないかと思
うのですが。

柳井を金魚の町にするアイデアをみんなで
考えるといいと思います。金魚提灯のルー
ツの弘前市との交流を充実する中でアイデ
アを出していくのもいいと思います。

柳井の地図絵図

岸田稔明

第三十二回 柳井町市街図（大正十五年）

その4（山口県文書館蔵）

第二十九回から、大正十五（一九二六）年に柳井町役場が発行した『柳井町市街図』を紹介しているが、今回は姫田川周辺を詳しくみていく。

今回掲載している地図の範囲には、久保町、亀岡町、土手町、新市町、愛宕町、洲崎町、魚町、栄町、旭町などが記されている。

土手町通りの西側にあるはずの姫田川は、亀岡橋から柳井川との合流地点までの区間は表示されていない。これは、土手町通りの西側の建物が、姫田川にはみ出して建てられていたためである。

両運橋そばに柳井町役場がある。明治三十六（一九〇九）年に柳井津町役場として新築され、昭和八（一九三三）年に現在のサンビームやない駐車場へ移転するまでここにあった。

普慶寺の南側には、岩国区裁判所柳井出張所がある。

明治二十三（一八九〇）年に設置された柳井津区裁判所が大正二（一九一三）年に廃止され、昭和二十二（一九四七）年まで登記事務のみを取り扱っていた。

洲崎町には、防長米企業組合柳井出張所がある。大正五（一九一六）年に地主や米穀生産者、米販売業者で組織されたもので、昭和四（一九二九）年に県に移管され、山口県穀物検査所柳井支所となつた。

郵便局は土手町に、銀行は久保町に二行、天神に一行あつた。

日本商業銀行柳井支店は、大正十二（一九二三）年の合併により安田銀行柳井支店となつた。

住友銀行柳井支店は大正元（一九一二）年に開設されたもので、海外に支店を有していたため、ハワイ等への移民の多かつた柳井・大島地域では重宝していた。

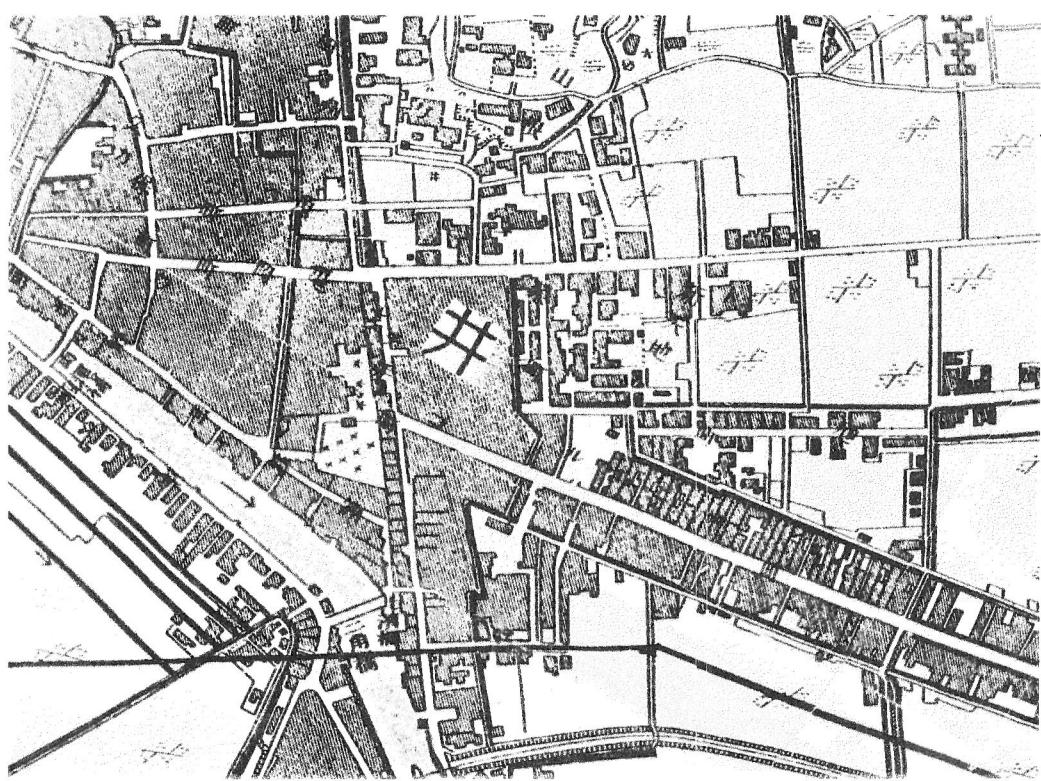
華浦銀行柳井支店は、明治四十二（一九〇九）年に現在の岩田楽器店の隣に開設された。

娯楽機関もつくられた。「松陽館」は大正十三（一九二四）年に松井吾作により新天地に開設された。松陽館の開設前は、一帯は水田で蛙が鳴き、螢も飛び、冬には鳩もいたそうであるが、一気に市街化が進んだ。「新天地」という新しい行政区ができたのも、この頃である。新天俱楽部も新築され、宴会や集会、興行などが行われた。

一方、「柳井座」はこの地図がない。柳井座は大正二（一九一三）年に神田静治など

が発起人となつて開設されたが、大正十四（一九二五）年に全焼し、昭和三（一九二八）年に再建された。地図がつくられたのは、大正十五（一九二六）年であり、全焼直後だったため、記載されていない。

【柳井町市街図（柳井町役場発行、山口県文書館蔵）】



商都柳井の歴史 その十九

松 島 幸 夫

柳井津の経済発展（八）

農家から商家への転換

暴風雨が来ず、害虫に襲われず、適度な降雨があり、年貢がそこそこの率であるならば、江戸時代の農業は安定した生業でした。ところが、災難が容赦なく襲い、収量の半分以上を年貢として取り上げられましたから、時に農民の前途は、真っ暗闇になりました。

農民たちは苦しみに耐え切れず、享保2年（1717）には、吉川領内で大規模な一揆が勃発しました。日積などの村々から錦帯橋の川原へ約800人の農民が、筵旗をかかげ、竹槍を持って押しかけました。一揆衆は、年貢の欠米（過剰徴収）の廃止などを求めました。

柳井津周辺の古開作村や柳井村などの農民は、姫田川の左岸にあつた代官所に押しつけて、同様の要求をしました。その後、要求が認められないのなら、岩国藩から萩藩の領

民にしてくれとの願いを出したのです。その結果は、農民側の敗北に終わり、厳しい処分が言い渡されます。8人の首が斬られ、20人が萩沖の島へ流されました。島流しの刑は、斬首よりも過酷でした。無期限の

刑だつたのです。島から返されることはないよう、身体が腐敗していく恐怖におびえ、牢屋の中で日本海の怒涛を耳にしながら、無残にも息絶えたのです。

柳井津近郷の処刑者としては、後地の徳三郎と古開作の新右衛門が首を刎ねられ、馬皿の忠兵衛と新庄の瀬兵衛と余田畠の治左衛門が島流しに処せられています。

古開作の皿田治兵衛も、生活困難な状況に置かれて、農家としての意欲を失います。凶年続きのために栄養不足となり、病弱に陥つたのです。稻作を続けていたのでは、かわいい子ども2人を育てる展望が持てません。

そこで農業を諦め、樋ノ上土手に小屋を立て商売を細々と始めます。ところが商売が上手くいきません。そのはずです。代官所は柳井津町にのみ商売を認め、その周辺わずかに農家が消費する必需品の商いだけを、津町以外でも目をつぶつていたのです。したがつて皿田治兵衛の商売には頭打ちがあつたのです。しかも、長男の又吉が病になりました。翌年には家の大黒柱である治兵衛が、若くして病死します。残された46歳の妻と2人の子どもは、極貧を強いられました。

皿田家の諸事を記した「友千鳥」の中で、江戸時代における自家の苦難を詳しく記し

ているのは、如何に繁栄をすることがあるうとも、決して先祖の苦汁を忘れることのないよう、との願いを込めたからでしょう。財を成しても、榮華に酔うことなく、謙虚な態度で生きることを子孫に教えたのでしょうか。

治兵衛は末期の際に、枕元に長男の亦吉を呼び寄せて、「柳井津の豪商に奉公に出よ」と遺言しました。家計の維持と商人としての道が開かれるなどを願つたのです。そのまま翌年、9歳になつた又吉は柳井津町に出て、貞屋の丁稚となります。貞屋のため懸命に働いても、給与はありません。ただ飯を食べさせてもらえるだけで、有難かつたのです。

皿田家先祖の苦労を他者が紹介し、申し訳なく思いますが、どの家にも栄枯盛衰はあります。それぞれの苦難を、我がこととして生かしてほしく思います



資料館便り

『幸せをありがとう』

副会長 山近 紹代

十一月の中旬までは、団体の県内と広島からの修学旅行と社会見学の学生さん。個人のお客様も県内の方がほとんどでした。でもコロナ感染が落ち着きを見せた十一月中旬以降は途端に東京・大阪からなど遠方からの来柳が増えて、北海道・沖縄からも来ていただきました。来られた皆さん□を揃えて「今のうちにと思って」と言われてました。

十一月中旬から下関・宇部出発の日帰りのツアーがあり、実際に多くのお客様がお越しになりました。多い日にはバス二台の日もあり、旅行会社の皆さんの努力に感謝してました。きっと皆さん「待つてました！」とばかりに参加されたのでしょう。

先日大阪からのツアーがあり、「お鐘金魚」目的で沢山来館いただきました。連れてこられたバスガイドさんが以前に来館され、お鐘金魚にお願いした後、良いことに恵まれたようで、お客様に勧めてくださつたことでした。このようにお鐘金魚に願掛け

に伝えたり、直接連れて来ていただいたら、家族と一緒に再来される方が多い。

「お鐘金魚」ご利益は、ますます好調のようで、幸運の報告が続いている。

十月にプライベートで来館された雑誌の記者の方は十二月に取材に来られて吉報の報告を頂いた。その報告は人によつて様々で、「子宝に恵まれた。」「臨時収入があつて、楽しいことができた。」などなど。

六月にはある会社のオーナーから依頼を受けたハンドメイド作家の方が来館され、「金魚を使つた新しいデザインを考えている。」とのこと。お役に立てばと思い、金魚ちょうどちんについてお話をして、「お鐘金魚」に願掛けもしていただいた。

その女性が九月に「お鐘金魚」にお礼に来られた。金魚をデザインしたとある会社とのコラボ商品が好評いただいてオーナーはじめ、いろいろな方に褒めていただき、仕事も増えたとのこと。我がことのように嬉しくて、幸せな気持ちが続いている。

皆さん本当に「幸せをありがとう！」

【編集後記】

★Happy New Year! NHKの朝ドラに刺激されて思わず口走った英語。本当に本年が幸福な年になってほしいですね。昨年の暮れには感染者数も抑えられ終息するかに思われたコロナウイルスは、またもや新たな変異をとげ世界的な大流行の波に日本国も巻き込まれようとしています。もし少しばかり早くこの波が訪れていたら年末の夜回りは中止せざるを得なかつたでしょう。

★木阪会長の初夢。いいですね。夢は多い方がいい。もっともっとみんなで夢を語り合いましょう。一人の力では困難な課題でもみんなで分担して力を合わせれば解決の糸口が見つかるかも知れません。桑原会員よりも貴重なご提言をいただきました。みんなでいい町にしていきましょう。

(事務局 皿田)

令和3年度第3四半期
柳井市町並み資料館入館者数

	令和3年10月～12月	令和3年12月現在累計
町並み資料館	3,047	294,160
	前年同期比	94.6%
松島詩子記念館	777	108,020
	前年同期比	80.1%